



こんにちは

日本共産党

よ ね だ 稔

米田 みのる です

Faxも
同じです

県議会 活動報告

「赤旗」読者ニュース

2014年 7月 6日

No. 729

〒985-0801 高知市長浜5183-37 090-1578-8588

▷事務所 841-2777 ▷県議会控室 823-9524 ▷自宅 841-5468 高知市長浜5183-37

農協改革への見解は

米田 氏

地域に影響する恐れ 知事



米田 稔氏

(共産、高知市)

りと構築されている。併せて、教育に民意をさらに反映し、責任を明確にして着実に実行していくこともまた極めて重要な。両者を共に考慮したものであるとして評価できる。

米田氏 教育への政治介入を強める地方教育行政法の改悪に対する懸念、不安をどう受け止めているか。

尾崎知事 首長が教育委員会と連携して責任を負う仕組みとする。指導の弱体化や店舗閉鎖につながるなどの懸念がある。議論の行方によって、本県農業や地域住民の生活に大

きな影響を及ぼす恐れがあるものを含む。四国知事会で「地域の農業・農村の衰退につながるような拙速な見直しにならないように」の緊急提言を採択し、国に申し入れた。米田氏 公共交通再編は市町村に新たな財政負担の危惧がある。岩城孝章副知事 再構築スキーム案は事業者の経営努力や増収対

学費や奨学金への願い 学生の声きき 国へ提言を

民青同盟が行った「アンケート」から、63%の学生が奨学金を利用(まだ着せている)仕送りの月3万円が多く、奨学金やアルバイトがないと生

活できない等の声を紹介。米田氏向に知事は「教育費の投資は滞りしない。今後も政策提言していく。お話を聞かせて頂ければ」と回答。

策で一定の収支改善が見込まれている。(土佐電鉄、県交通が)単独で事業を行うケースと比べ、行政経費は抑制される計画だ。事業者の最大限の自助努力が基本だが、利用者の減少傾向が続くと想定される中、将来にわたって路線を維持するためには、行政の負担が一定増加することは避けられないと考える。

代表員向に
立ちました

高知新聞
6月26日
付より

よね(米)ちゃん

あすめの「冊」
●「フランスの良し食」と「前向きに考えること」一ひどり暮らし、96歳の吉沢さんさんが大切にしていること。日曜版にも登場。著書「いきいき96歳」一ひどりの暮らしの妙味(新日本出版社)を買い求め、短時間で読

めました。
生き方、老後のくらし方、社会のこと等フクフク考えさせられます。どうぞ「一読を」(お貸しします)
●同僚の協力を得ながら、6月議会代表員向に。
日本の進路に関する

種から、目々のくらしのこと等取り上げました。(原稿読んでいる時に「回線」痲が詰まりました。年かな?)
大学生や地域の方々等沢山の傍聴ありがとうございました。
●30度までこえる夏暑い。お気をつけて、



憲法破壊の 歴史的暴挙 海外で戦争する国へ大転換



●国議決定に怒り30人が駆けつけ(氣勢(一))